

成人看護学演習

[演習] 2年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○神田直樹[kanda@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 桑原ゆみ[yumi-k@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

慢性病者・家族の生活の質を維持するために、治療や療養環境(病棟・外来・地域・居宅・職場など)を整備・調整すること、地域でのサポートネットワークづくりおよび社会資源の活用，多職種連携について学ぶ。

【学修目標】

- 慢性病者の治療や療養環境をアセスメントし、生活の質の維持に向けて調整・整備する方法を検討できる。
- 地域で活用できるフォーマル・インフォーマルな資源をアセスメントし、慢性病者のサポートネットワークづくりに役立つ方法を検討できる。
- 病院・施設から在宅生活への移行がスムーズに行えるよう、多職種が連携して支援する上での看護師の役割と方法を説明できる。
- 慢性病者・家族にとっての治療や療養環境の整備およびサポートネットワークづくりにおける課題と改善策が検討できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	治療や療養環境と生活の質	治療や療養環境と慢性病者・家族の生活の質 国際生活機能分類(ICF)の視点でのアセスメント方法 複数の慢性疾患や障がいをもつ慢性病者の事例を用いてICFの視点でアセスメントし、生活の質を重視した支援について検討	神田 桑原
3) 4	地域で活用できる社会資源	地域で活用できる社会資源 フォーマルな社会資源 インフォーマルな社会資源 慢性病者・家族のニーズと社会資源の有効活用 HOTや腹膜透析をしている慢性病者の事例を用いて社会資源の有効活用について検討	神田 桑原
5) 6	切れ目のないサービスと多職種連携 在宅環境の整備	多職種連携とは 多職種連携を促進するコア・コンピテンシー 多職種連携における専門看護師の役割 入院から在宅ターミナルへ移行する慢性病者の事例を用いての多職種連携について検討	神田 桑原
7) 8	切れ目のないサービスと多職種連携 職場環境の整備について	治療と職業生活の両立 慢性病者の就業状況と課題 両立支援に関する制度・体制 両立支援にかかわる関係者間の連携における医療者の役割 脳卒中、心疾患、糖尿病患者の事例をもとに治療と職業生活両立のケアプランを作成、検討	神田 桑原
9) 10	地域でのサポートネットワークづくり	サポートネットワークづくりについて神経難病の在宅療養者の事例をもとに検討する フォーマルな支援；医療保険・障害福祉・介護保険サービスなど インフォーマルな支援；ピアサポート、近隣ネットワークづくりにおける看護師の役割の検討	神田 桑原
11	地域でのサポートネットワークづく	学生が臨床実践で経験した慢性病者の治療や療養環境	神田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	り	整備に関する支援に照らして9～10回の授業で学んだ内容を参考に検討、プレゼンテーション後、討議により深める	桑原
13 14	慢性病者の治療や療養環境整備の実際	専門看護師の実践例から慢性病者や家族の生活の質に配慮した、治療や療養環境整備の実際について学ぶ。 (病棟・外来・地域・居宅・職場などでの調整)	神田 桑原 荒木絢子(特別講師)
15	慢性病者の治療や治療環境整備における課題と展望	学生が本講での学びをもとに、慢性病者の治療や療養環境整備およびサポートネットワークづくりにおける課題を明らかにし、いくつかの改善策を提案する	神田 桑原

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション30%、ディスカッション内容30%、課題レポート40%による評価。

【教科書】

特に指定しない。適宜資料を提示する。

【参考書】

事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン,厚生労働省,平成28年2月.
その他,適宜紹介する。

【学修の準備】

課題に沿って予習をして授業に臨むこと。

【学修方法】

治療や療養環境の整備や調整、地域でのサポートネットワークづくり、社会資源の活用に関する内容に関して、教員が提示する事例や学生が臨床実践で経験した事例を題材に、講義とゼミナール形式での討議とを組み合わせながら内容を深めていく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。